

授業概要(シラバス)

※下記科目は全て実務経験のある教員等による授業科目

項目	内容	
授業科目	I T戦略とマネジメント	
授業方法	座学	
実施期間	前期	
コマ数/週	2	
達成目標	情報を活用した戦略や管理手法、システム開発に関する知識を学ぶ	
授業内容 (サブタイトル)	企業活動	経営科学
	情報戦略マネジメント	技術戦略マネジメント
	ビジネスインダストリ	情報システム戦略
	情報システム企画	システム開発技術
	ソフトウェア開発技術	プロジェクトマネジメント
	サービスマネジメント	システム監査
成績評価方法	科目毎に、その終了時に1回の評価としてA・B・C・Dの4段階とする。検定取得状況・平素の授業態度・確認テスト・出席率・課題提出状況・期末試験等（年2回）の結果によって総合的に行う。	

項目	内容	
授業科目	Office 実務 I	
授業方法	実習	
実施期間	通年	
コマ数/週	3 コマ	
達成目標	Microsoft Office Specialist (Word、Excel) 検定の資格取得を目指す。	
授業内容 (サブタイトル)	検定対策 MOS Word 365&2019	
	検定対策 MOS Excel 365&2019	
	検定対策 MOS PowerPoint 365&2019	
成績評価方法	科目毎に、その終了時に 1 回の評価として A・B・C・D の 4 段階とする。検定取得状況・平素の授業態度・確認テスト・出席率・課題提出状況・期末試験等（年 2 回）の結果によって総合的に行う。	

項目	内容	
授業科目	アルゴリズム	
授業方法	座学	
実施期間	前期	
コマ数/週	4	
達成目標	目的に沿ったプログラムの処理手順を組み立てられる	
授業内容 (サブタイトル)	アルゴリズムと流れ図	変数
	擬似言語	基本データ処理
	配列	探索処理
	整列処理	データ構造
成績評価方法	科目毎に、その終了時に1回の評価としてA・B・C・Dの4段階とする。検定取得状況・平素の授業態度・確認テスト・出席率・課題提出状況・期末試験等（年2回）の結果によって総合的に行う。	

項目	内容	
授業科目	コンピュータシステム	
授業方法	座学	
実施期間	前期	
コマ数/週	9	
達成目標	コンピュータや情報に関する幅広い知識や技術の学習	
授業内容 (サブタイトル)	コンピュータの基本構成	コンピュータのデータ表現
	中央処理装置	主記憶装置
	補助記憶装置	入出力装置
	情報処理システムの処理形態	高信頼化システムの構成
	情報処理システムの評価	ヒューマンインタフェース
	マルチメディア	ソフトウェアの分類
	オペレーティングシステム	プログラム言語
	言語プロセッサ	ファイル
成績評価方法	科目毎に、その終了時に1回の評価としてA・B・C・Dの4段階とする。検定取得状況・平素の授業態度・確認テスト・出席率・課題提出状況・期末試験等（年2回）の結果によって総合的に行う。	

項目	内容	
授業科目	ビジネス実務	
授業方法	座学	
実施期間	通年	
コマ数/週	2 コマ	
達成目標	ビジネス能力検定ジョブパス 3 級の取得を目指す。 就職活動の知識を身に着ける	
授業内容 (サブタイトル)	検定対策	就活対策
成績評価方法	科目毎に、その終了時に 1 回の評価として A・B・C・D の 4 段階とする。検定取得状況・平素の授業態度・確認テスト・出席率・課題提出状況・期末試験等（年 2 回）の結果によって総合的に行う。	

項目	内容	
授業科目	一般教養	
授業方法	座学	
実施期間	通年	
コマ数/週	2 コマ	
達成目標	SPI の学習、企業研究	
授業内容 (サブタイトル)	企業研究	
	SPI 学習	
成績評価方法	科目毎に、その終了時に 1 回の評価として A・B・C・D の 4 段階とする。平素の授業態度・確認テスト・出席率・課題提出状況・期末課題（年 2 回）の結果によって総合的に行う。	

項目	内容	
授業科目	商業簿記	
授業方法	座学	
実施期間	通年	
コマ数/週	5 コマ	
達成目標	企業は、会計報告書で企業の業績や成果を公表していますが、どこの国においても複式簿記のしくみにより作成しています。複式簿記を理解し、財務諸表を作ることができるよう目指す。	
授業内容 (サブタイトル)	決算	
	経過勘定	
	帳簿制作	
	債務処理	
	検定対策	
成績評価方法	科目毎に、その終了時に 1 回の評価として A・B・C・D の 4 段階とする。検定取得状況・平素の授業態度・確認テスト・出席率・課題提出状況・期末試験等（年 2 回）の結果によって総合的に行う。	

項目	内容	
授業科目	情報処理技術者講座 I	
授業方法	座学	
実施期間	後期	
コマ数/週	6	
達成目標	情報処理技術者試験の取得に必要な知識を学ぶ	
授業内容 (サブタイトル)	ハードウェア	情報処理システム
	ソフトウェア	データベース
	ネットワーク	情報セキュリティ
	データ構造とアルゴリズム	ストラテジ
	開発技術	マネジメント
成績評価方法	科目毎に、その終了時に 1 回の評価として A・B・C・D の 4 段階とする。検定取得状況・平素の授業態度・確認テスト・出席率・課題提出状況・期末試験等（年 2 回）の結果によって総合的に行う。	

項目	内容	
授業科目	サーバー運用管理	
授業方法	座学、実習	
実施期間	前期	
コマ数/週	2 コマ	
達成目標	サーバーのコマンド操作や設定、運用管理を学ぶ	
授業内容 (サブタイトル)	基本的なコマンド	bash の機能
	Vi エディタについて	ファイルパーミッションについて
成績評価方法	科目毎に、その終了時に 1 回の評価として A・B・C・D の 4 段階とする。検定取得状況・平素の授業態度・確認テスト・出席率・課題提出状況・期末試験等（年 2 回）の結果によって総合的に行う。	

項目	内容	
授業科目	データベース実習 I	
授業方法	実習	
実施期間	後期	
コマ数/週	2 コマ	
達成目標	データベース操作に必要な S Q L を学ぶ A c c e s s の操作を学ぶ	
授業内容 (サブタイトル)	データベース概要	E - R 図
	正規化	レコード抽出
	絞り込み	複雑な条件の絞り込み
	抽出結果の並べ替え	グループ化
	グループ化後絞り込み	テーブル結合
	A c c e s s テーブル作成	A c c e s s クエリ作成
	A c c e s s レポート作成	A c c e s s フォーム作成
成績評価方法	科目毎に、その終了時に 1 回の評価として A ・ B ・ C ・ D の 4 段階とする。検定取得状況・平素の授業態度・確認テスト・出席率・課題提出状況・期末試験等（年 2 回）の結果によって総合的に行う。	